

会報

2012 ▶ 2013
WEEKLY REPORT



奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

留萌
ロータリークラブ
会長目標

ロータリーを楽しく・
学び・奉仕しよう

会長／山本讓二 幹事／森 幹雄

プログラム

- 本日
創立記念夜間例会／光風館・石亭
配偶者誕生日
3月1日 松田 陽子
- 次週予定

No. 2548

第32回 2月27日

出席報告

前例会

会員総数	42名
出免会員	10名
出免出席	5名
基準会員出席	18名
出席率	62.16%

前々例会

第29回 2月6日

欠席会員	16名
内メイクアップ	7名
修正出席率	78.37%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 先日開催されたオロロン・スノーパラダイス・プロジェクトのメンバーより、協賛の礼状と記録誌をいただきました。
2. 特別支援学級合同学習会（卒業を祝う会）の支援に対しての礼状をいただきました。

👤 幹事報告

- ・赤平RC、砂川RCより3月例会案内を受領しました。
- ・羽幌RCより2月例会案内と会報を受領しました。
- ・国際ロータリー下期の人頭分担金領収書を受領しました。
- ・ハイライトよねやま155号を回覧いたします。

- ・2013～2014年度ロータリー手帳の購入案内が来ておりますので回覧致します。購入を希望される方は幹事までお知らせ下さい。配付は5月下旬の予定です。金額は630円です。

👤 委員会報告

国際奉仕委員会 鈴木委員長

10月、11月に会員の皆様方よりご協力頂いたロータリー財団と米山記念奨学会への寄付に対し、確定申告用領収書が届いております。皆様に配付いたします。

👤 ニコニコBOX

- ・長きにわたり欠席して申し訳ございませんでした 今日からロータリーに復帰いたしました

た これからもよろしく願います

森(幹)幹事

・珍味セット販売 おいしいですよ 堀会員

前 回 480,200円

今 回 21,000円

累 計 501,200円

プログラム……………

「タイ・国際奉仕検証ツアーに参加して」

田中 公一 会員

この度は、私の不注意で例会プログラムを、会報紙上で発表する不手際を、お許し下さい、心からお詫び申し上げます。例会卓話では、西谷英樹・地区国際奉仕委員さんから、詳しいお話があったと思います。例会用DVDは20分にまとめたものですが、総撮影時間は3時間22分で、70分に編集したDVDもありますので、ご希望の方はメールでお知らせ下さい。

タイ国の面積は、約51万平方キロメートルで、北海道のほぼ6倍です。(北海道 83450平方キロメートル) 今回のツアースケジュールは非常にタイトで、バンコクの空港を日本の羽田空港にたとえますと、羽田空港から函館空港へ降り、3台のバン(9人乗)でニセコに到着、さらに13歳の少年が運転するトラックの荷台に乗って、羊蹄山の山頂のお寺にお参りしたのが、第1日目です。再度羽田空港に戻り、今度は旭川空港へ着陸、バスで稚内へ向かい、クリーンウォーターやクリントイレの検証、自転車や奨学金の寄贈を行い、一泊して羽田空港へ戻り、今度は女満別空港へ降りて、アムナットチャロエンでの検証です。帰りは釧路空港までバスで移動し、羽田空港へ戻り帰国するという、本当に過酷な4泊6日のスケジュールでした。アムナットチャロエンからは、2004年・清水会長年度のGSEで、チームリーダーとして留萌にも滞在した、ソンプーンさんが合流しました。パトカーに先導させたり、日本人観光客が行ったことのないレストランでの昼食など、世界大会の時も税関をフリーパスで出迎えて下さったり、

ソンプーンさんの実力を、目の当たりにしました。ここでは留萌RC単独事業の図書館の書籍、パソコンなどを贈呈いたしました。国の宝でもあり無限の可能性を秘めた子供たちが、喜んで勉強してくれる環境作りに、2011年度・鈴木会長年度のMGが役に立ちました。今までは協力する側でしたが、2年前の東日本大震災では、逆にソンプーンさん側からMGの申し出があり、福島の子供たちに放射線線量計を、一人に1台ずつ贈ることが出来ました。DVDの画面からも判りのように、西谷英樹会員は地区国際奉仕委員として大活躍でした。松原委員長(砂川RC)も、2510地区の国際奉仕委員会を、日本語でなく英語で会議を行ってはどうかという西谷委員の提案に、たいへん乗り気でした。留萌RCと地区とのパイプ役を、立派に果たしておりました。思い起こすと、平井会員さんが幹事の、1980年7月2日に入会させていただきました。タイの北部で、ミャンマーやラオス国境の地まで、現地ガイドでさえここまでは来たことが無いという場所でした。川の水や雨水を飲んでいた子供たちが、安心・安全な水を飲むことができ、キラキラ輝く瞳は、その感謝の気持ちの表れと思います。このような経験をさせていただけるのも、ロータリーのお陰です。

留萌クラブの皆様にも、是非参加していただきたい検証ツアーです。

「タイ検証ツアー参加報告」

ロータリー第2510地区国際奉仕委員

留萌ロータリークラブ 西谷 英樹 会員

ロータリー 2510地区国際奉仕委員会のタイ検証ツアーの卓話という事で、これから皆さんに発表致します。ツアーの日程は先月の1月11日から1月16日までの4泊6日で行って参りました。昨年は東日本大震災のあとという事で、支援はしましたが検証はできなかったのが、今年は2年分の検証の為、普段は2箇所の検証ですが今年は3箇所を訪問したので大変厳しいツアーでした。飛行機は全部で8回乗り換えたり、バス移動は330キロを最長とする過酷な状況が毎日続きましたが、今回のツアーでは岩城バス

WEEKLY REPORT

トガバナーや熊沢直前ガバナーをはじめとする20名が参加致しました。私は最年少での参加になり、岩城パストガバナーは85才での参加の為、恥ずかしくて弱音は言えませんでした。私は岩城ガバナーを見て、ガバナーはお金持ちや地位があるだけじゃダメだと思いました。一番の条件は体力がないとなれないと感じました。

それでは簡単にツアーの流れを説明して、後ほど検証のDVDを鑑賞していただきます。

まず1日目と2日目は、千歳空港に19:00集合でしたが雪の影響で飛行機が遅れることになると、羽田発のバンコク行きに間に合わなくなるというトラブルになり、1時間早い便に変更して出発致しました。羽田に着いて空港内で搭乗手続きと食事を済ませて、00:30発でバンコクへ行き、翌日06:00にバンコクに着き、08:00の便でチェンマイに行き、一度着替えだけの為にホテルに行き、着替え後は片道2時間の移動で、チェックダムの検証と山の上の寺院の見学をして又、2時間かけてチェンマイのロータリーとの交流会に出席して、バナー交換やお土産を渡したり食事したりして交流を深め、ホテルに22:00過ぎにチェックインしました。非常にハードな初日だったので、ほとんどの人はすぐに就寝したみたいでした。私は現地のロータリーを連れてチェンマイの町に飲みに行き、3時にホテルに帰りました。

3日目は8:00に朝食を食べ、9:00にホテルを出発して、チェンマイ空港から1度バンコクに戻り飛行機でウドンタニ空港に行き、バスでノンカイに移動しました。16:00にノンカイのホテルにチェックインして、この日は検証がなく19:00のノンカイロータリークラブとの交流会だけなので、ツアーメンバーは約2時間ばかりタイ式マッサージを受けました。ちなみに料金は500パーツで1500円ぐらいです。ノンカイクラブの交流会は3時間以上になり、私は連日で現地のロータリーと飲みに行きました。1時にはホテルに戻り軽くミーティングして就寝しました。

4日目は朝8時にチェックアウトして、ノンカイの小学校3校を水事業や図書事業で検証し

てムクダハンに330キロかけて移動して、20:00すぎにホテルにチェックインして、この日はツアーの人だけで夕食して就寝でした。私は少しだけ何人かのツアーのメンバーと又、飲みにいきましたが1時間で帰りました。

5日目はアムノットチャロエンでソンブーンさんと合流して、最大の小学校で最後の検証を行いました。この小学校はマッチングでやっていますので留萌RC単独の支援になっています。これは国際奉仕委員会では初めてで、普通は10クラブで1つの支援なるので、多分出村財団委員が留萌クラブから私が出向しているので配慮してくれたのかと思いますので、今後留萌クラブのメンバーがこちらに行った際は、かなりの歓迎を受けると思います。最後の検証が終わり、80キロ移動してウボンラチャタニ空港ついて、ツアーの反省会をしてバンコクに飛行機で移動しました。空港からバンコクのロータリーとの交流会に出席して、ホテルにチェックインしたのが22:30ぐらいで、最後のバンコクの夜でしたが昼に食べた辛い料理にあたってしまい、極度の下痢で大人しくホテルにいました。

6日目は、朝6時半にバンコク空港に行き、搭乗手続きを済ませ、8:25発成田行きに乗り16:50に成田着で、18:55発で千歳空港に向かい、21:00に無事北海道に帰ってきました。田中先生は札幌に泊まり、私は3時間かけて留萌の自宅に着きました。

本当にきついツアーでしたが、タイとの交流とタイの子供たちの笑顔で、本当に参加してよかったと思います。私はひとりでも多くのロータリーが検証に参加して、何かを感じ取ってもらいロータリーの奉仕活動に役立ててもらいたいと考えます。

タイ・国際奉仕検証ツアー

